

香川県高松市との国内国流

国内交流事業の始まり

国内交流事業は、聖武天皇の勅旨により建立された国分寺にゆかりのある自治体が集まり交流を深める「全国国分寺サミット」が、平成13年4月に栃木県国分寺町にて開催されたことを機に、香川県国分寺町と栃木県国分寺町との地域間交流が始まり、平成17年2月に友好親善都市の提携を結びました。両町とも合併により高松市、下野市と町名は変わりましたが、今までに培われた友好の輪を大切にするため、合併後も市・住民レベルでの教育・文化・スポーツ等様々な交流を続けています。また、昨年度には「下野市国内交流協会」が発足し、様々な交流事業を協会が主体となって実施しています。

下野市小学生親善交流事業(訪問事業)

今年度も交流事業の一環として下野市小学生交流事業を実施しました。今回で9回目を迎えるこの事業は、下野市内の小学6年生が対象で、今回も市内7校から19名の応募がありました。児童が団員として香川県高松市を訪れ、高松市の小学生との交流や施設・史跡を見学し、他地方の風土を理解するとともに、自分たちの郷土への愛着を高め、実施しています。

●日程

8月9日(火)～11日(木)

●内容

交流事業(高松市国分寺南・北部小学生とのレクレーション交流・地引網体験・海水浴)・史跡名勝見学(国分寺跡資料

館・瀬戸大橋記念公園・善通寺・金毘羅宮・栗林公園・屋島水族館)

●参加者

諏訪守団長(下野市国内交流協会事務局長)・団員19名(下野市内小学6年生)・引率教諭(緑小・国分寺東小)2名・事務局1名



交流事業の思い出

小学生が高松市との交流体験を作文にしてくれました。

「高松市を訪問して」
国分寺小 6年 大高優芽

8月9日から11日までの3日間、私は高松市との交流を深めるため、下野市小学生親善交流団の一員として、高松市を訪問しました。

この3日間で色々な思い出ができましたが、その中でも特に心に残ったのは地引網です。

心に残った地引網体験

地引網体験は3日間の中で一番暑い日の活動になりました。太陽がジリジリと照りつけ、砂浜がヤケドしそうに暑い中、高松市の小学生と一緒に大きな網を引きました。網はとても大きくて重く、引き上げるのが大変でした。網の中にはタイタコなどいろいろな魚がいました。海水浴を楽しんだ後に取れた魚を食べました。みんなと協力して取った魚はとてもおいしかったです。

きれいな場所

ほかに、高松市にはきれいな場所がたくさんあります。

いな場所がたくさんありました。金毘羅宮は千段以上の長い石段が有名で私たちも暑い中がんばって登りました。とても急な石段で疲れましたが、登りきった後はすごく気持ちよかったです。栗林公園は、松や池がとてもきれいな日本庭園でした。1日目の交流会で私と畠中さんは「下野市の地理と文化」について紹介をしました。最初はとても緊張しましたが、無事に終えることができました。発表のポスター作りや練習などに時間がかかりましたが、良い経験になったと思います。

今回の高松市訪問は、私にとって貴重な体験になりました。高松市の小学生はとても元気で、すぐに仲良くなれました。高松市と下野市両市の友達ができたことをうれしく思います。この3日間はあつという間で楽しく充実していました。これからも高松市との交流を深めていきたいです。とても素晴らしい体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

下野市